2020年6月某日

差枚	+2140枚	RANK	A

実戦機種

パチスロ 新鬼武者～DAWN OF DREAMS～

実戦レポート

ついにこの実戦レポートも再開できる日が来た。今までと変わらず仕事に励むことができるだけで、それは既にありがたいことなのだろう。朝、実戦ホールに向かいながらそう思う。だが、電車を降りて改札を抜ければ、すぐに実戦ホールが見えてくる。抽選を待つ人たちが徐々に増えるにつれ、気が引き締められる。きっと皆考えることは同じだ。「できれば良い番号を引いて、高設定に座りたい」 よし、そろそろ抽選時間だ！

「98番」。引き締まった気持ちが、また少し緩んだ気がした。そうだよな。久しぶりのパチスロだ！と意気揚々と打ちに来たけれど、だからってそんなに上手くいくわけはない。というか、ここ1年以上はずっと上手くいかないことばかりだったじゃないか。まぁ復帰一発目としては、どんな番号だろうと文句などあるはずがない。いつも通り入店してから、その場の状況を見て台を選ぶのみだ。（狙い台を決め切れていない、とも言う）
で、まぁ予想通り、新台のサラ番2や新鬼武者は埋まっていて、人気どころのバジリスク絆2、まどか新編、まどマギ2なんかも当然無理。そして一応い候補に挙げていた特定の台番末尾をチェックするも、それすら既に競争率は激高。やっぱりみんな考えることは同じなんだなぁ。

しかし何とか空いていたサラリーマン金太郎を見つけて、じゃあ初打ちだけどこれを頑張ってみるかと座ってサンドに一万円札を入れようとしたら、「あれ？　新鬼武者空いてるけど打たないんですか？」との声。朝、一緒に狙い台をあーでもないこーでもないと相談していたユーザーだ。え、うそ？　さっきは埋まっていたように見えたけど…うわ、マジだ。空いてる！

どうやら下皿に置いてある「消毒済み」の札が「遊技台確保札」に見えていた、というのが有力な説っぽい。確かに、さっき見て確保されているなと思った時、座っている人は居なかった。とにもかくにも、これは有難い！　候補の台番だと予想しているのは隣の台だが、そっちが当りだったとしても、2台機種の新鬼武者なら「全台高設定シマ」になる可能性も結構あるし！

ってなわけで打ち始めると、最初の100G付近の前兆で首尾よく規定ゲーム数当選！　そしてボーナス終了後は百鬼モード突入！　そうそう、これが高設定の特徴って言うよね～。あとは設定推測画面が「〇否定」とか結構出るらしいんで、それをチェックしていけば…。とか言ってたら、3回目ぐらいのボーナスで早速見慣れない画面が出現！　え一っとこれは「設定5・6確定」…マジで？　結果、完全なる設定6挙動でした！　ちなみに隣の台はハズレでした。危ね！